

パルシステム共済連通信

～びいあらいぶ～

発行元
パルシステム共済生活協同組合連合会 管理部

2018年

7月3月号

次回の
『パルシステム共済連通信』
は9月2回です
(8/27～31配付)

続けていきます

子どもには **のびのび** と遊んでほしいから。

「福島の子どもたち保養プログラム」

東

日本大震災から7年。東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響で、いまなお避難されている方がいます。

パルシステムグループは震災が発生した2011年から、さまざまな形で被災地の支援を続けてきました。そのなかの一つが「福島の子どもたち保養プログラム」です。

放射線の影響を気にしながら暮らす福島の子どもたちに、おもいきり外遊びをしてもらいたいとの思いで2013年度からスタートしたこのプログラムは、子どもたちが一時的にでも放射線の不安から離れ、精神的にもリフレッシュできるよう、県外の海や山で過ごす企画を定期的に実施しています。プログラムの参加者は年々増え、2017年度は24企画を実施し、656名の福島の親子が参加しました。

プログラムはパルシステム組合員からのカンパや各地域のパルシステムとその関係会社からのカンパを資金として実施されており、パルシステム共済連もCO・OP共済《たすけあい》の新規加入1件につき50円を、この保養プログラムへカンパしています。



プログラム関係者より



震災から7年が経ち、国や民間団体もさまざまな理由によって支援の打ち切り、縮小が進んでいます。これまで開催した保養プログラムの参加者からの声を受け、パルシステムグループ全体での支援を継続していくことが必要と考えています。

パルシステム連合会
環境・地域支援部 地域活動支援課
根本 歩



パルシステム共済連は共済・保険事業を通して、組合員どうしの「たすけあい」の輪がひろがっていくことを目指しています。その理念のもと、「福島の子どもたち保養プログラム」への支援についても「たすけあい」の一つとして継続していきます。

パルシステム共済連 管理部 組織運営課
渡辺 恵輔



こんにちは、 パルシステム共済連通信 びいあらいぶです。

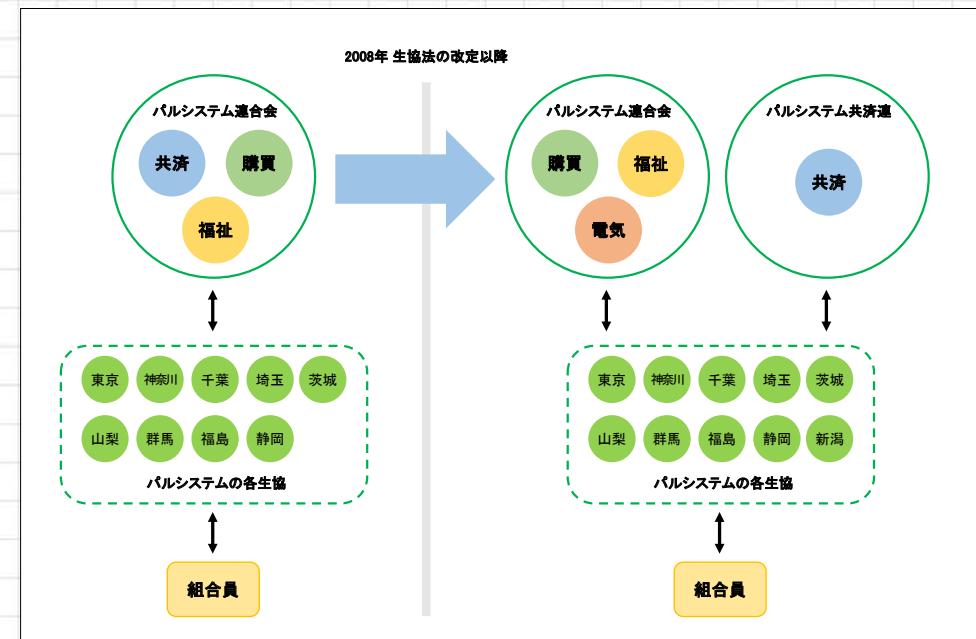
2003年に創刊した『びいあらいぶ』は今年度大きくリニューアルしました。
これまでどおり組合員のくらしに役立つ情報をお届けするほか、
私たちパルシステム共済連の想いや取り組みをお伝えしていきます。

表紙でご紹介した「福島のことどもたち保養プログラム」への支援や
組合員の福祉活動・健康維持活動を支援する「たすけあい活動助成金」など、
共済・保険の保障商品を提供するだけでなく、
パルシステム共済連が取り組んでいることを
共済・保険の加入者や組合員の皆さんにお伝えしていくことは、
大きな使命だと感じています。

「掛金を毎月支払っているけど、ケガも病気もしない。
掛金って共済金の支払い以外にどんなことに役立っているの？」
共済や保険に加入したことのある方なら、
誰もが感じたことがあると思います。
『パルシステム共済連通信～びいあらいぶ～』では
そういった疑問にもお応えしていきます。

パルシステム共済連は、 パルシステムの 共済・保険事業専門の連合会です。

パルシステム共済生活協同組合連合会（通称「パルシステム共済連」）は、2008年の
生協法の改定・施行に伴い、パルシステム生活協同組合連合会内で行っていた共済
事業を引き継ぐ形で、日本コープ共済生活協同組合連合会（通称「日本コープ共済
連」）と連携して、共済事業専門の協同組合連合会として設立されました。2010年に
事業を開始し、2020年には事業開始10周年を迎えます。



組合員のくらしの 課題解決のために。

パルシステム共済連は、パルシステムの理念の一つ「多様
性の共存」を大切にし、共同連帯（たすけあい）の輪を広げ
ること、また共済・保険事業を通して社会的役割を発揮し、
豊かな社会づくりへの貢献をめざしています。パルシステム
グループの一員として、食の分野の安心・安全やくらし課
題解決への貢献と同様、組合員のくらしの保障やその課題
解決に役立ちたいと考えています。

パルシステム共済連がめざしているもの。

1 組合員どうしの相互扶助、 たすけあいの輪を拡大します

「自分の掛金が誰かの役に立つ」という、組合員どうしの相互扶助を形に
したものが“共済”です。加入者が増えるほど保障内容がよくなっていく
のが特徴で、2017年度は高齢者向けの「ブラチナ85」が誕生しました。
組合員自身の病気や事故への備えとしてだけでなく、「困っている誰かの
ためになる」という気持ちを形にする一つの方法としても、組合員とその
家族へCO・OP共済《たすけあい》への加入をおすすめしています。

2 地域の福祉活動を推進します

パルシステムのそれぞれの生協では、高齢者や障がい者の自立支援、家
事援助、子育て支援などを、組合員どうしの「くらしの助け合い活動」と
して実施しています。
こうした活動をさらに地域社会へ広げ、発展させていくために、パルシス
テム共済連は共済・保険事業から発生した剰余金の一部を「たすけあ
い活動助成金」として活用できる仕組みを作り、福祉活動や健康維持活
動等への支援を積極的に行っています。

3 さまざまな組合員の活動と連携し、 くらし課題解決の一翼を担います

各地域のパルシステムや組合員LPA（ライフプラン・アドバイザー）※は、
組合員のくらし課題解決のため組合員どうして学びあう場として、健康
に関する講演会やライフプランに関する学習会などを行っています。パ
ルシステム共済連は、そのような活動と連携することで、組合員のライフ
プランや家計などの分野のくらし課題解決をサポートしていきます。

※生協の全国組織である日本コープ共済連が実施する「LPA
養成セミナー」を修了・合格する、またはファイナンシャル・プラ
ンナーの資格を持ち、一定の研修課程を修了した組合員です。

Information

助け合いの心を折り鶴にこめて。
組合員手作りの折り鶴が集まりました。



CO・OP共済では「早くげんきになりますように」と
お見舞いの気持ちを込めて、共済金請求書類
をお送りするときに、組合員が折った手作りの折
り鶴を同封しています。
2017年度、パルシステムグループではこの取り
組みを推進するために組合員へ「共済のご案内」
チラシと一緒に折り鶴ボランティアへの呼びか
けを行い、約18万羽の折り鶴が集まりました。
これからも折り鶴ボランティアの取り組みを通じ
て、「ささえあい」「たすけあう」ことへの実感を広
げていきます。

保障のこと、備えのこと

情報が
いっぱい！

パルシステム共済連の ホームページ

パルシステム共済連のホームページは、
保障商品についての情報はもちろんの
こと、家族の健康づくりや家計を応援
する「健康・家計おうえんなび」、「たす
けあい活動助成金」の取り組みにつ
いてのご報告など、さまざまな情報を公
開しています。ぜひご覧ください！

パルシステムの保障 検索

<http://www.palsystem-kyosai.coop/>

